

目標設定シート (2009年度)

部局と評価項目・要素

対象部局	産業研究所
大項目	0 理念・目的
中項目	
小項目	0.0.1 大学・学部・研究科等の理念・目的は、適切に設定されているか。
要素	理念・目的の明確化 実績や資源からみた理念・目的の適切性 個性化への対応
小項目	0.0.2 大学・学部・研究科等の理念・目的が、大学構成員（教職員および学生）に周知され、社会に公表されているか。
要素	構成員に対する周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	0.0.3 大学・学部・研究科等の理念・目的の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

○2009年度からの目標

<ol style="list-style-type: none"> 1. 学内教員を核とした共同研究を常時3プロジェクト設置し、加えて毎年臨時的项目を1つ以上運営する。 2. 常時運営する3つの共同研究のテーマは、いずれも国際性、あるいは地域連携と結びついた内容とする。 3. EUインスティテュート関西事業、EU情報センター活動、および日中経済シンポジウムを毎年運営する。 4. 産業研究所の共同研究活動の成果は、毎年出版物として公開するのみでなく、講演会で教育活動や社会に還元する。 5. 経済・産業学術情報データベースを維持・更新して、研究者、学生に利用（検索）提供し、研究活動に寄与する。 <p>【産業研究所の理念・目的】</p> <p>産業研究所は、社会科学系の研究所として、学際的、実証的、総合的なアプローチによって、経済や産業などに関する現実的な課題の研究を行い、もって研究と現場の橋渡しの機能を果たし、社会に貢献することを使命とする。</p>

○指標

<ol style="list-style-type: none"> 1. 各研究プロジェクトの定例研究会のうち公開型を2回以上開催する。終了後1年以内に研究成果の公開。 2. プロジェクトは国際性か社会連携性のあるテーマ設定とそれにふさわしいメンバー（学外者を必須）を編成。 3. 産業研究所の運営するEU I J 関西シンポジウム、日中経済シンポジウムを毎年各1回以上開催。 4. 学外公開型講演会・セミナーを年10回以上開催。東京での講演会を毎年開催し、首都圏での学術情報発信を行う。 5. データベースに、毎年8千件以上の論文記事データの追加入力。
